2027年3月期　第２四半期
決算補足説明資料

2026年11月13日



神戸天然物化学 株式会社

今回のポイント

中期経営計画の取組み

- 中計経営課題への取組みは順調
- 取り組んできた営業強化策と生産能力増が結実、2Q累計の新規受注は過去最高を更新

2027/3期２Q決算

- 増収増益を達成。上期売上高は過去最高を更新
- 先行指標となる新規受注高が決算に反映され始める
- 2027/3月期通期見通しは据置きながら、保守的な想定と認識

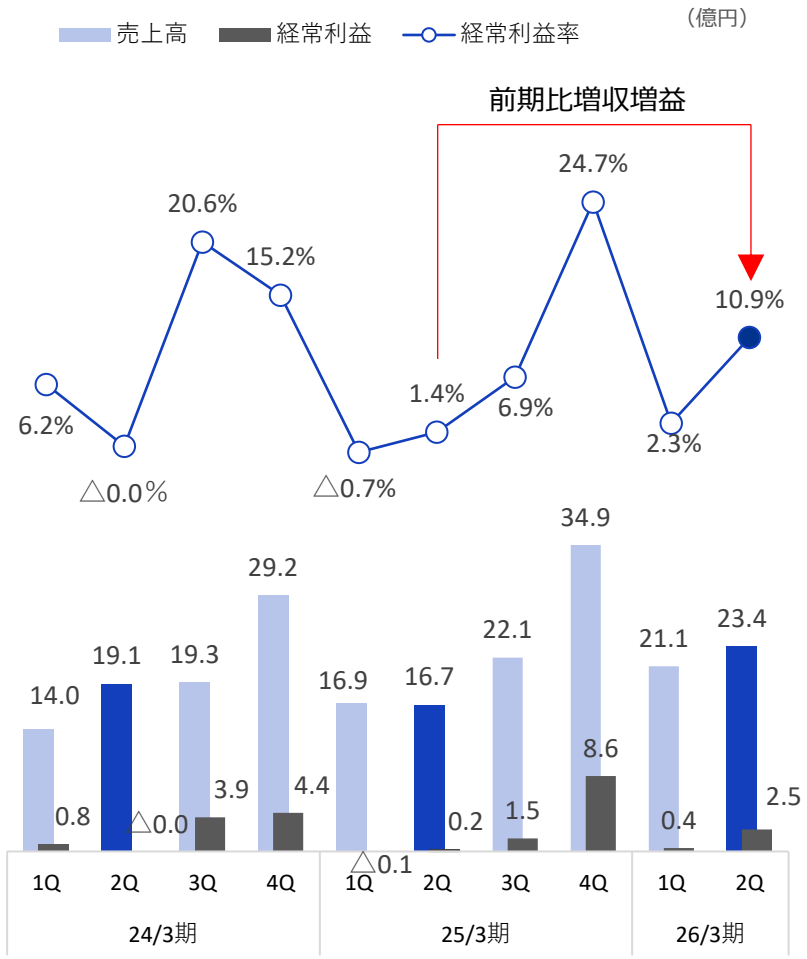
Copyright © KNC Laboratories Co., Ltd. All Rights Reserved.

神戸天然物化学 株式会社

2027/3月期2Q決算エグゼクティブサマリー

- 27/3期2Qは前期比で増収増益。経常利益率は上期として3年ぶりに、四半期単独で10%を超える水準
- 分野別売上高は新棟の稼働などを背景に、機能材料・バイオは前年を上回るペースで推移
- 通期見通しは据え置き。下期は前年比で減収減益を見込むが、新棟効果などを踏まえると保守的で、コストや原材料調達のリスクを織り込んだ見通し

四半期推移



半期別業績見通し

（百万円）	2026/3月期		2027/3月期		
	上期	下期	上期	下期	通期
	実績	実績	実績	見通し	見通し
売上	3,374	5,719	4,466	5,533	10,000
機能材料	1,410	1,646	1,768	1,531	3,300
医薬	1,416	2,511	1,341	2,758	4,100
バイオ	547	1,561	1,356	1,243	2,600
営業利益	△0	1,025	311	598	910
経常利益	11	1,017	304	585	890
経常利益率	0.3%	17.8%	6.8%	10.6%	8.9%
当期純利益	1	765	197	442	640

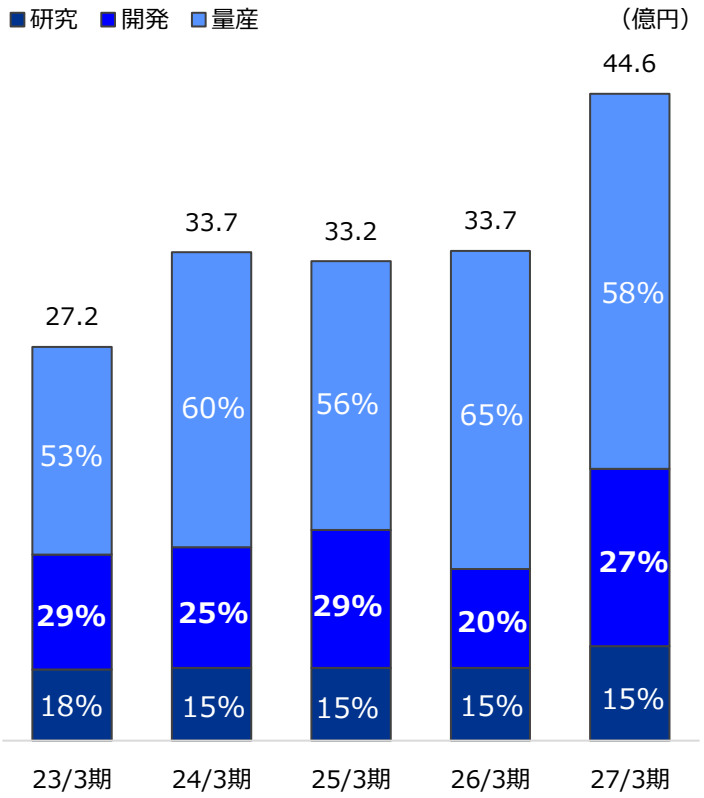
Copyright © KNC Laboratories Co., Ltd. All Rights Reserved.

神戸天然物化学 株式会社

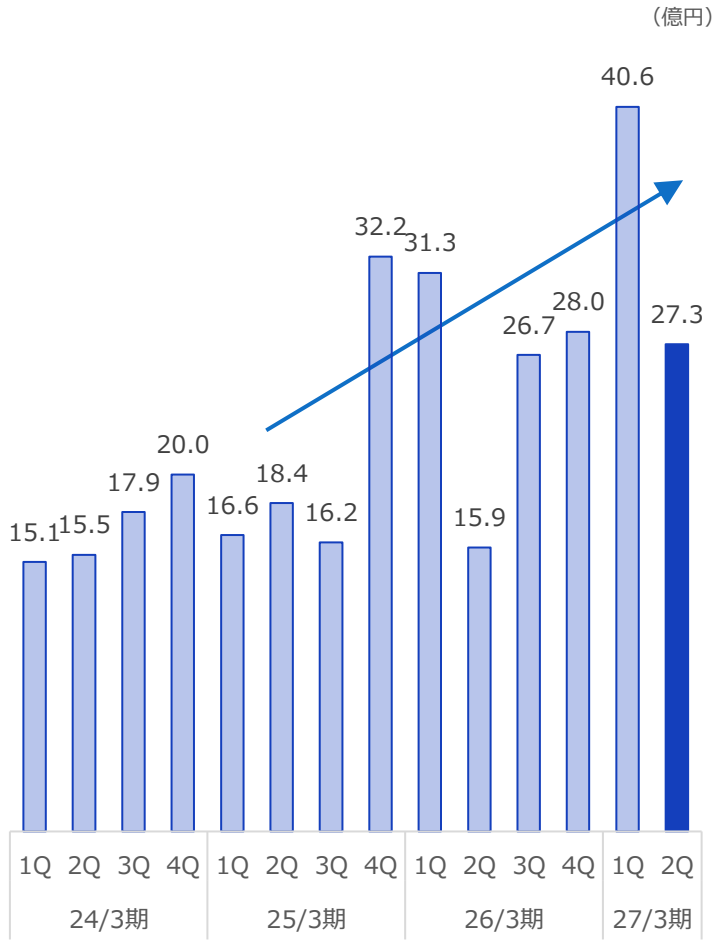
2027/3期2Q決算エグゼクティブサマリー

- 開発ステージは機材・医薬・バイオの各分野で伸長し、売上構成比は27%に上昇
- 量産ステージは機材・バイオが伸び、半導体関連の引合い拡大や新棟稼働が寄与した一方、医薬は伸びが鈍化
- 2Qの新規受注は大型案件一巡で前四半期比減少したものの、上期累計は過去最高の68億円。新棟稼働と営業力強化を背景に受注残も過去最高を更新

ステージ別売上推移（上期比較）



四半期別新規受注推移



Copyright © KNC Laboratories Co., Ltd. All Rights Reserved.

1. 2027年３月期上期　決算概要

Copyright © KNC Laboratories Co., Ltd. All Rights Reserved.

神戸天然物化学株式会社

2027/3月期２Q 経営成績

- 27/3期2Q累計決算は新棟稼働の影響により、前年比で大幅増収。2Q累計売上高は過去最高を達成
- 通期見通しに対する進捗率は売上で45%。例年のおよそ40%未満と比較すると、ピッチは順調。ただし、これは下期偏重の緩和というよりも、案件積み上がりによる上期の水準上昇効果と分析
- 調整後EBITDAマージンは20.6%と、前年実績11.3%からは大きく上昇。27/3期は将来を見越した戦略的費用や中東情勢に伴う一過性費用の計上あるも、新棟稼働を通じて、稼ぐ力は着実に向上していると認識

（百万円）	2025/3期	2026/3期		**2027/3期**		前期比較		2027/3期進捗率
		2Q累計	通期	**2Q累計**	通期見通し	差異	変化率	
売上高	8,178	3,374	9,093	4,466	10,000	+1,092	+32.4%	44.7%
機能材料	3,002	1,410	3,056	1,768	3,300	+358	+25.4%	53.6%
医薬	3,508	1,416	3,927	1,341	4,100	△74	△5.3%	32.7%
バイオ	1,667	547	2,109	1,356	2,600	+808	2.5倍	52.2%
営業利益	771	△0	1,024	311	910	+312	—	34.2%
経常利益	929	11	1,028	304	890	+293	27倍	34.2%
経常利益率	11.4%	0.3%	11.3%	6.8%	8.9%	+6.5pp	—	—
当期純利益	737	1	766	197	640	+196	197倍	30.9%
調整後EBITDA*	1,761	380	1,951	921	2,210	+541	2.4倍	41.7%
調整後EBITDAマージン	21.5%	11.3%	21.5%	20.6%	22.1%	+9.4pp	—	—

* 調整後EBITDA＝ 営業利益 + 減価償却費 + 研究助成金 − 長期前受収益取崩し

Copyright © KNC Laboratories Co., Ltd. All Rights Reserved.

神戸天然物化学株式会社

四半期別経営成績　全項目で大幅改善

(百万円)	2025/3期				2026/3期				2027/3期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	1,405	1,916	1,932	2,924	1,694	1,679	2,219	3,499	2,118	2,348
機能材料	798	769	665	768	755	654	666	979	894	873
医薬	395	703	927	1,482	730	686	893	1,617	579	762
バイオ	211	442	339	673	208	338	659	902	643	712
営業利益	85	△8	246	448	△9	8	154	870	51	260
経常利益	87	△0	398	445	△11	22	153	863	48	256
経常利益率	6.2%	△0.0%	20.6%	15.2%	△0.7%	1.4%	6.9%	24.7%	2.3%	10.9%
当期純利益	56	△1	283	398	△11	12	104	660	41	156
調整後EBITDA	283	200	611	665	182	197	373	1,197	352	569
調整後EBITDAマージン	20.1%	10.5%	31.7%	22.8%	10.8%	11.8%	16.8%	34.2%	16.6%	24.3%

1.4倍

+12.5pp

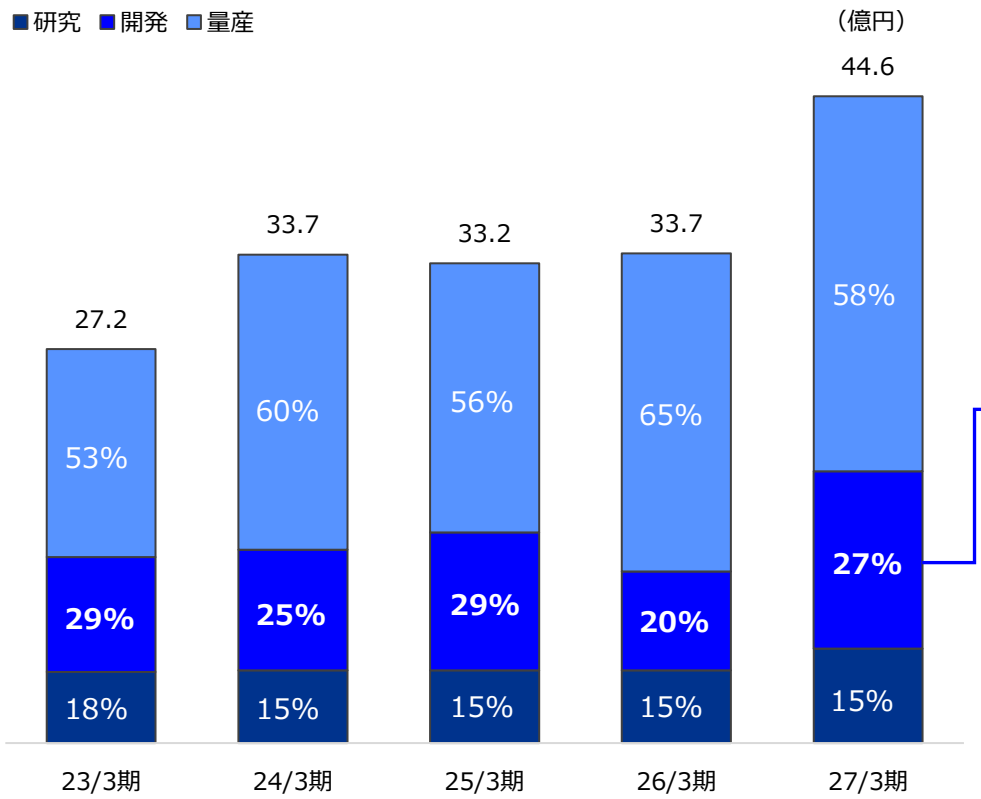
Copyright © KNC Laboratories Co., Ltd. All Rights Reserved.

神戸天然物化学 株式会社

ステージ別売上状況

- ステージ別売上では、開発ステージの売上が伸長。全社売上に占める割合は27%へと大きく上昇
- 機材・医薬・バイオの3分野で、開発案件の積み上げが順調に進展。バイオ分野ではバイオ医薬品関連の引き合いが増加し、機材では半導体需要の拡大など良好な外部環境に加え、営業力強化も奏功
- 量産ステージも順調。ただし、機材・バイオが伸長する一方、医薬は前期ほどの積上げに至らず。機材では、半導体関連分野の引合い拡大や新棟稼働が寄与

ステージ別　上期売上の推移



【量産】 対前年比 **+3.9億円**

- ✓ 機材・バイオでプラス伸長
- ✓ 新棟稼働による影響

【開発】 対前年比 **+5.4億円**

- ✓ 機材・医薬・バイオですべて伸長
- ✓ 引き合い好調

【研究】 対前年比 **+1.5億円**

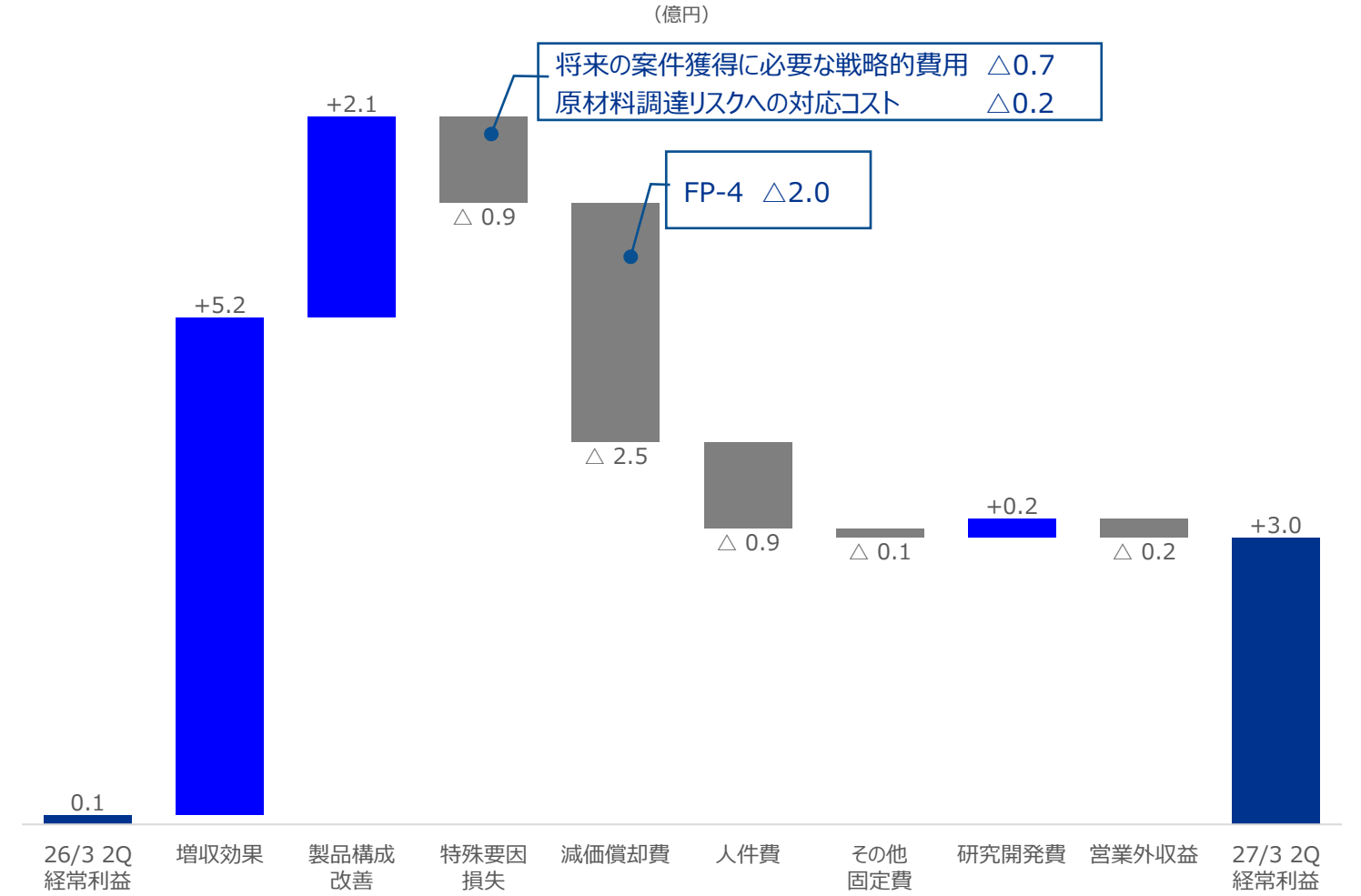
- ✓ 堅調に推移

Copyright © KNC Laboratories Co., Ltd. All Rights Reserved.

経常利益　増減要因分析

- 経常増益は増収効果が牽引。半導体関連など開発・量産ステージ案件の増加が貢献。分野別には、機材、バイオの2領域が伸長
- コスト面では、新棟稼働に伴う償却負担増や人件費増が発生。1Qには将来の案件獲得に向けた戦略的費用も計上。ただし、これらの影響は増収効果で吸収
- ホルムズ海峡問題に端を発した原材料調達リスクへの対応コストは、およそ0.1億円/四半期。現時点で調達トラブルはないが、今後のリスクヘッジに必要な投資と認識

2027/3期２Q経常利益　増減益要因分析



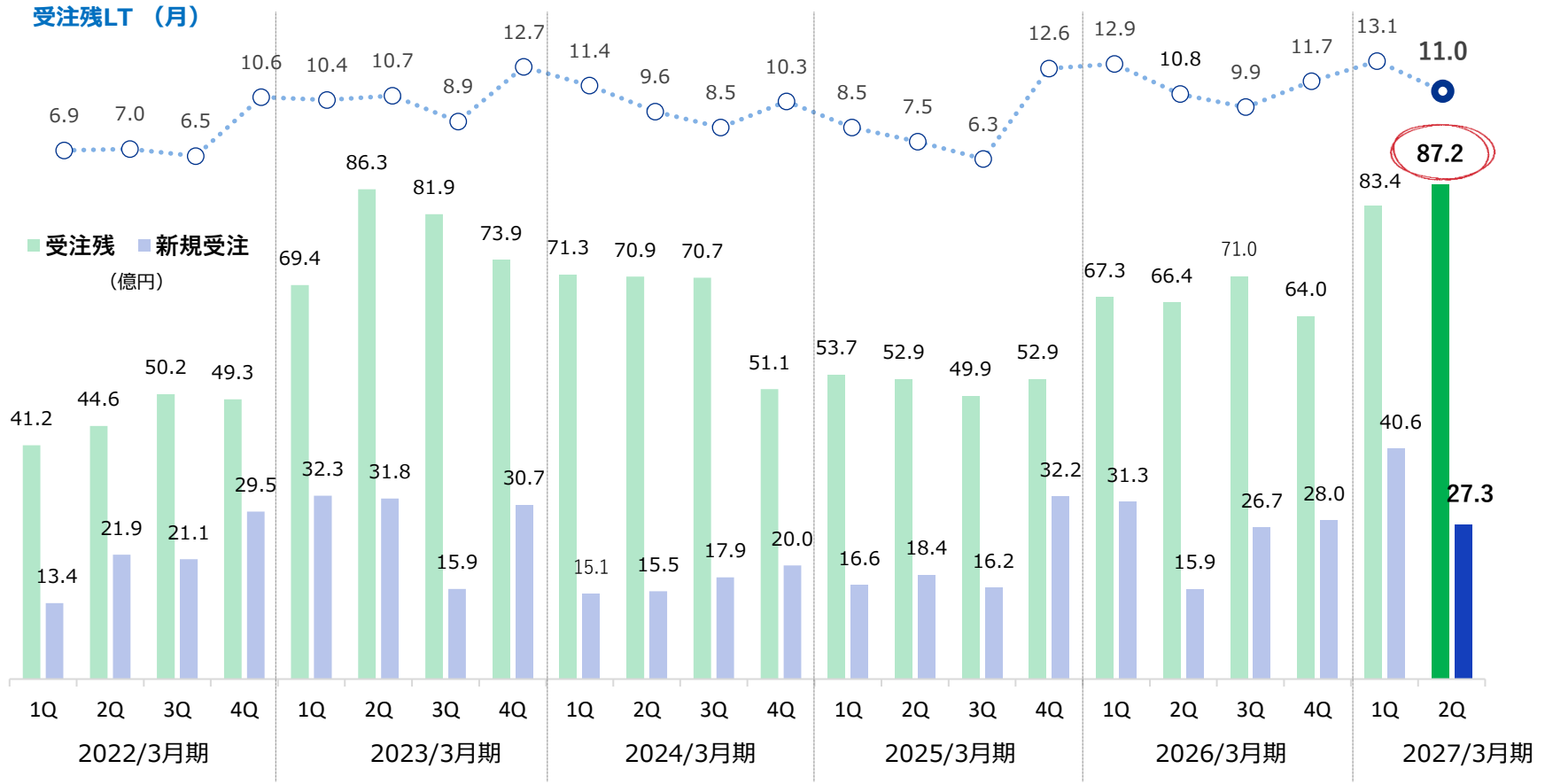
Copyright © KNC Laboratories Co., Ltd. All Rights Reserved.

神戸天然物化学株式会社

受注状況

- 2Qの新規受注額は27億円。大型案件一巡で1Q比では減少も、例年の水準からは大きく増加
- 上期ベースでの新規受注68億円は過去最高。新棟稼働により、見込生産品目の引合い好調に加え、中計にて注力の営業力強化が効果発現
- これを受け、受注残は過去最高水準を更新。受注残存リードタイムも高水準を維持し、指向していた事業の先行安定性引上げも進捗

新規受注、受注残及び受注残存リードタイムの推移



※1 顧客から提示されたフォーキャスト等は含まず
※2 受注残LTはその時点で今後の納期に至る平均残存期間で算出

Copyright © KNC Laboratories Co., Ltd. All Rights Reserved.

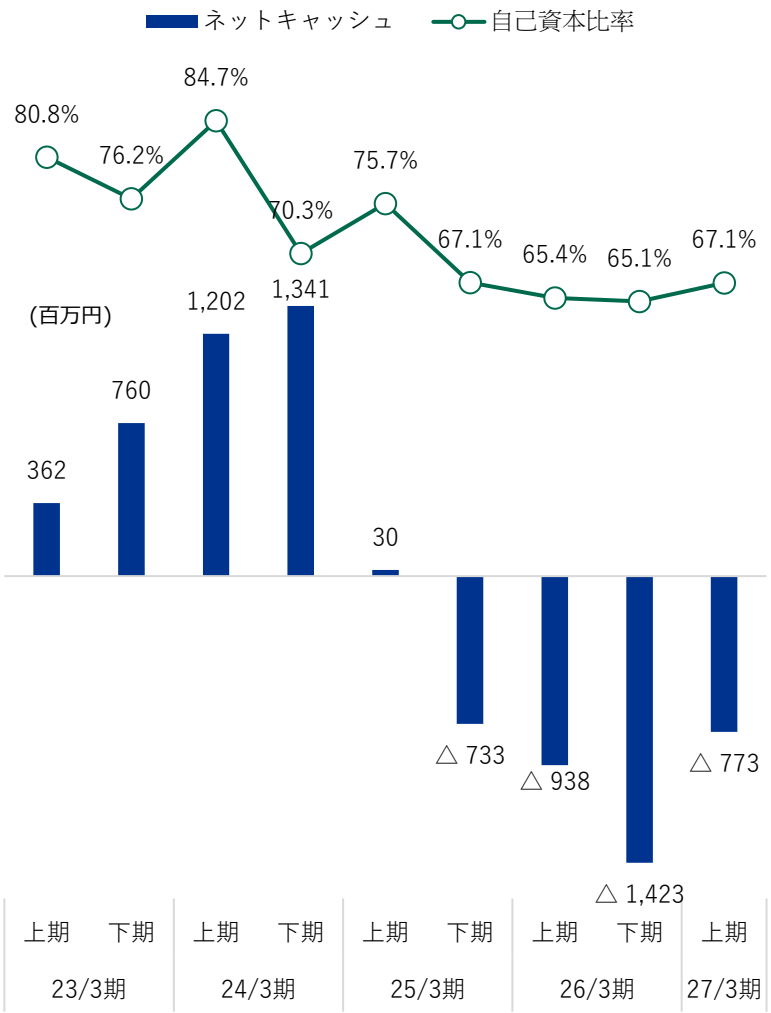
神戸天然物化学株式会社

2027年3月期上期 財政状態

- 総資産は前期末比で若干減少。減価償却の進捗に伴い、有形固定資産が減少
- 流動資産では、売上債権の回収が進む一方、下期の出荷集中対応として在庫を積増し
- 貸方では負債の返済が進捗。期末のネットキャッシュは、大型投資負担で一時大きくネットデットへと傾いたものの、再びバランス化の方向にシフト
- 上期末の自己資本比率は67.1%。財務基盤は高水準を持続

※ ネットキャッシュ：現預金 ＋ 有利子負債
※ ネットデット　：有利子負債が、現預金を上回る状態

（百万円）	2025/3期	2026/3期	2027/3期 2Q	前期末比
流動資産	7,475	7,811	7,774	△37
現預金	2,385	2,173	2,268	+94
売上債権	2,407	1,743	1,338	△404
棚卸資産	2,541	3,290	3,958	+667
固定資産	12,676	13,832	13,120	△712
有形固定資産	11,147	12,277	11,639	△638
繰延税金資産	1,191	1,099	1,032	△67
総資産	20,152	21,644	20,894	△749
負債	6,632	7,563	6,870	△692
有利子負債	3,119	3,596	3,041	△554
未払金/未払税	753	390	415	+25
長期前受収益	1,767	1,995	1,834	△161
純資産	13,520	14,080	14,023	△56
負債純資産合計	20,152	21,644	20,894	△749



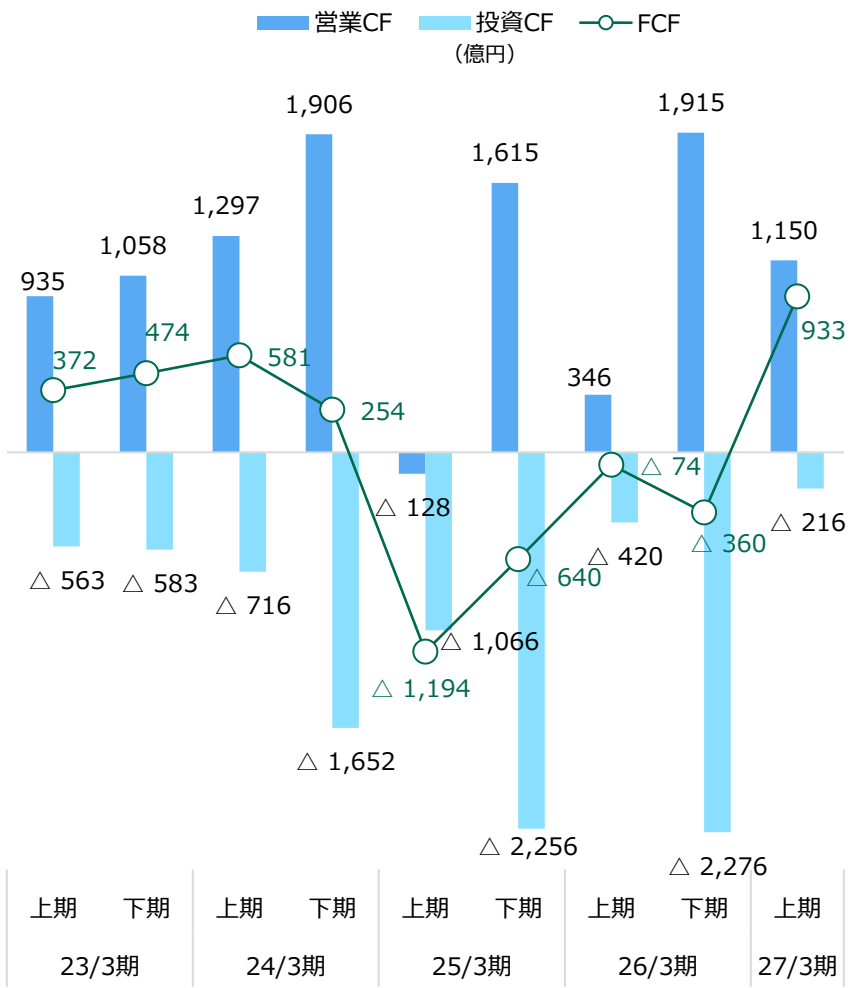
Copyright © KNC Laboratories Co., Ltd. All Rights Reserved.

キャッシュフローの状況

- FCFは5半期ぶりにプラス転換。大規模設備投資が一巡。FCFは主として借入金返済に充当
- 営業CFでは減価償却費に加え、運転資金負担が改善。下期の出荷集中に備えた在庫積増しはあるものの、高水準のキャッシュインを実現
- FCFのキャッシュインは、借入金の返済や株主還元（自己株式取得）等に充当
- 上期は発行済株式数の1.55%に相当する自己株取得も実施

（百万円） △＝CF減少	26/3期		27/3期	
	上期	下期	上期	前年比
営業CF	346	1,915	1,150	+803
税引前当期純利益	9	1,016	299	+290
減価償却費	443	790	813	+370
売上債権/ 仕入債務増減	1,378	△631	487	△891
棚卸資産増減	△801	53	△667	+134
投資CF	△420	△2,276	△216	+204
固定資産取得	△417	△2,230	△215	+201
FCF*	△74	△360	933	+1,007
財務CF	△70	292	△838	△768
借入金増減等	61	416	△554	△616
自己株式取得支払額	0	△0	△152	△152
配当金の支払額	△131	△123	△131	△0

＊ FCF=営業CF+投資CF で算出



Copyright © KNC Laboratories Co., Ltd. All Rights Reserved.

2. 2027年３月期　決算見通し

Copyright © KNC Laboratories Co., Ltd. All Rights Reserved.

神戸天然物化学株式会社

2027/3月期　決算見通し

- 通期見通しは従来想定を据置き。前期比では10%増収、13.5%経常減益の見通し
- 半期別には、当期も下期偏重型を想定。特に医薬分野の下期売上は対上期で2.1倍と、前年以上に下期偏重となる見通し。
- 下期のみの業績は、対前年で減収減益を想定。ただし、新棟効果や営業強化を考えると、これは保守的。依然不透明なコスト環境や原材料調達状況のリスクを相当に織り込んだ見通しと認識

(百万円)	2025/3期	2026/3期			2027/3期				
	下期	上期	下期	通期	上期	下期見通し	差異 対上期	差異 対前年	通期
売上高	4,856	3,374	5,719	9,093	4,466	5,533	+1,067	△185	10,000
機能材料	1,434	1,410	1,646	3,056	1,768	1,531	△236	△114	3,300
医薬	2,409	1,416	2,511	3,927	1,341	2,758	+1,416	+247	4,100
バイオ	1,012	547	1,561	2,109	1,356	1,243	△112	△317	2,600
営業利益	695	△0	1,025	1,024	311	598	+286	△426	910
経常利益	843	11	1,017	1,028	304	585	+280	△432	890
経常利益率	17.4%	0.3%	17.8%	11.3%	6.8%	10.6%	+3.8pp	△7.2pp	8.9%
当期純利益	682	1	765	766	197	442	+244	△322	640
調整後EBITDA*	1,277	380	1,571	1,951	921	1,288	+366	△283	2,210
調整後EBITDAマージン*	26.3%	11.3%	27.5%	21.5%	20.6%	23.3%	+2.6pp	△4.2pp	22.1%

Copyright © KNC Laboratories Co., Ltd. All Rights Reserved.

神戸天然物化学株式会社

需要分野別　業績見通し

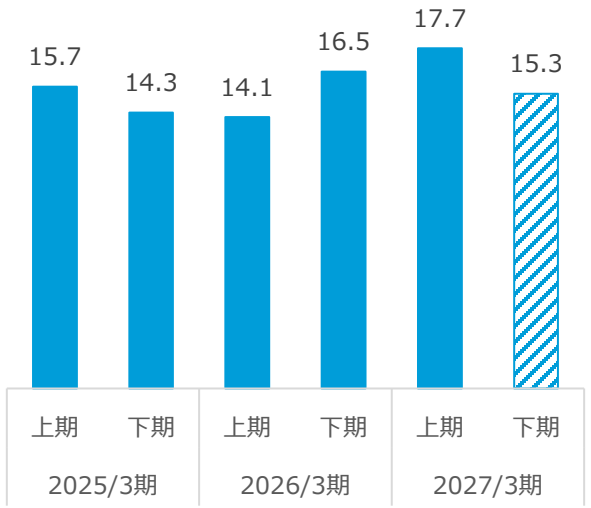
機能材料分野

【受注状況】

量産ステージの医療関連材料に加え、半導体関連材料など**引き合い好調**

【売上見通し】

対上期では減収想定も、受注状況を勘案すれば保守的な想定



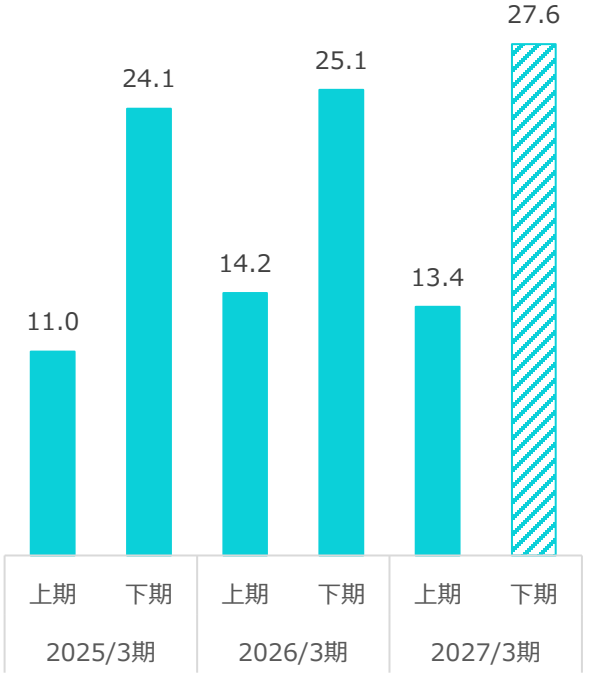
医薬分野

【受注状況】

量産・開発ステージ案件を中心に**引き合い堅調**

【売上見通し】

下期は例年通りの出荷集中を想定。当期は下期ベースで過去最高売上となる見通し



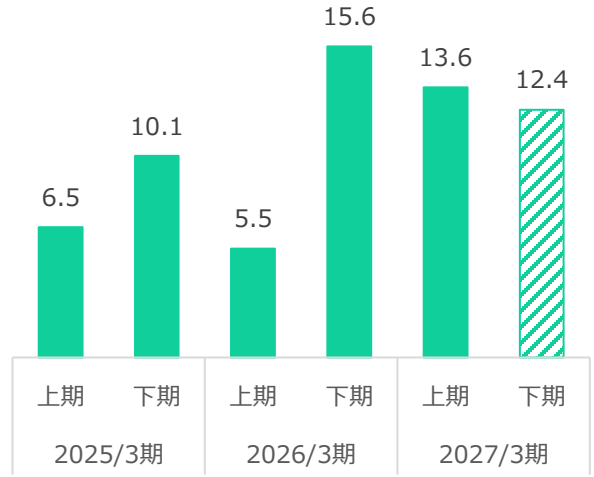
バイオ分野

【受注状況】

量産・開発ステージのバイオ医薬品関連など**引き合い好調**

【売上見通し】

対上期では減収想定も、受注状況や下期売上集中傾向を勘案すれば保守的な想定



Copyright © KNC Laboratories Co., Ltd. All Rights Reserved.

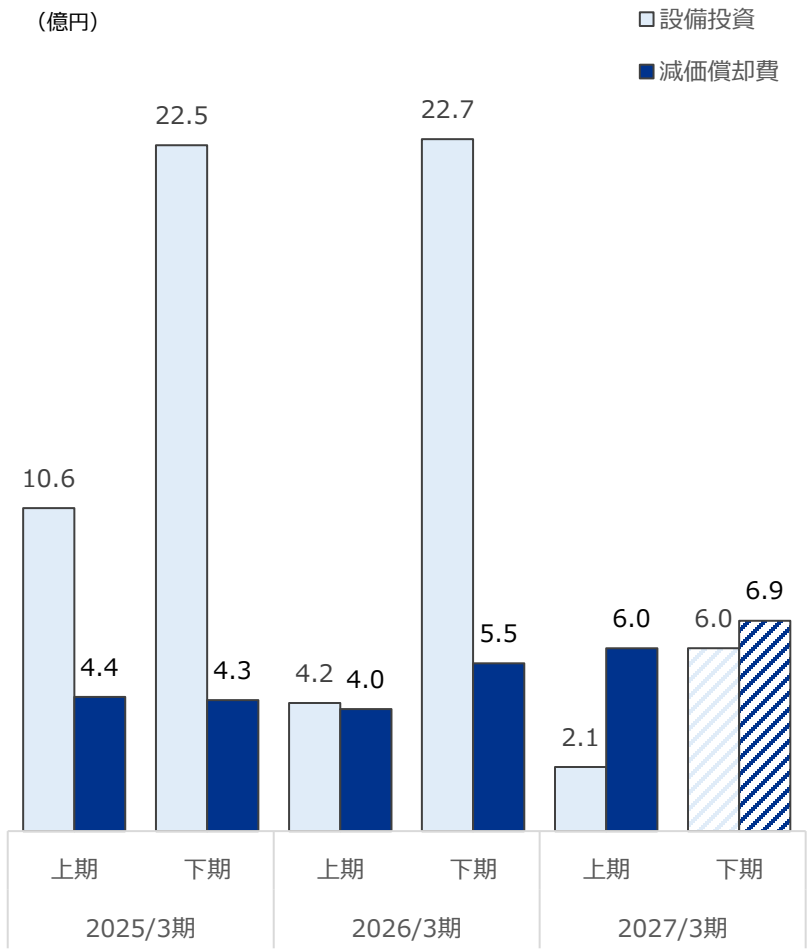
神戸天然物化学株式会社

設備投資＆減価償却費、研究開発費の推移

- 27/3期下期は6億円の投資を予定
- 過去２年間は30億円を超える大型投資が続いた一方、27/3期は投資額を10億円以下とし、一時的な調整局面となる見込み
- 減価償却費は新棟（FP-4棟）の稼働により27/3期に大きく増加するも、今後緩やかに減少する見通し
- 25/3期のAMED*関連調整費を除くと、研究開発費は半期ベースで1.0億円弱のペースを維持

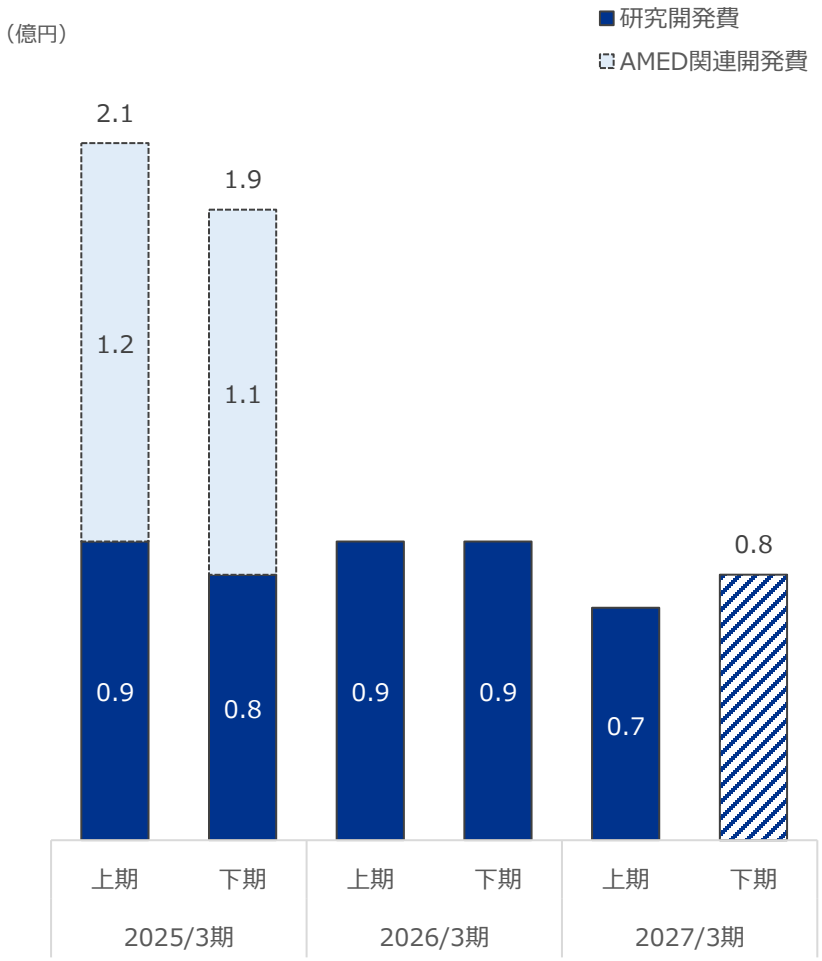
※ AMED：国立研究開発法人日本医療研究開発機構の略称

設備投資と調整後減価償却費*の推移(CFベース)



＊ 調整後減価償却費 ＝ 減価償却費 － BRC新棟（D棟）償却費

研究開発費の推移



Copyright © KNC Laboratories Co., Ltd. All Rights Reserved.

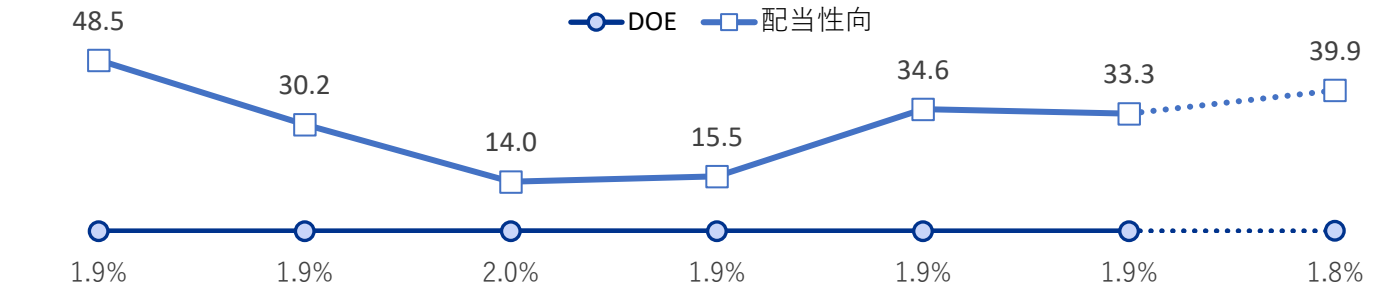
株主還元

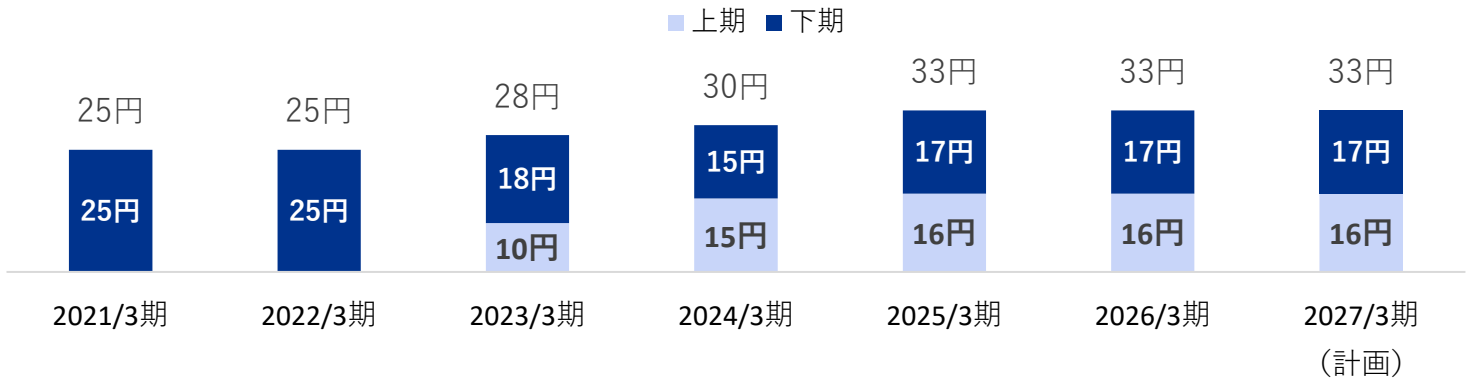
- 2027/3期は中間配16円、期末配17円とし年間33円とする計画を据え置き
- 年33円配は前期比据置きとなり、安定配当実施方針は堅持。現見通し基準でDOEは1.8%を想定

※ DOE（株主資本配当率）：株主資本に対する配当額の割合

配当見通し

配当方針　企業価値拡大に向けた投資余力を総合的に勘案し、業績状況に即した安定配当を継続実施





Copyright © KNC Laboratories Co., Ltd. All Rights Reserved.

3．中計進捗アップデート

Copyright © KNC Laboratories Co., Ltd. All Rights Reserved.

中計課題解決が順調に進展中

- **キャパシティ拡大に伴う営業力強化を中心に、経営課題対策は順調に進展。併せて、それらの成果も受注額などに発現**
- **次の成長に向けた課題として、出雲工場では、事業拡大を見据えて人材の確保を進める。あわせて、敷地の手狭さに対応するため、新たな用地の取得を引き続き検討**

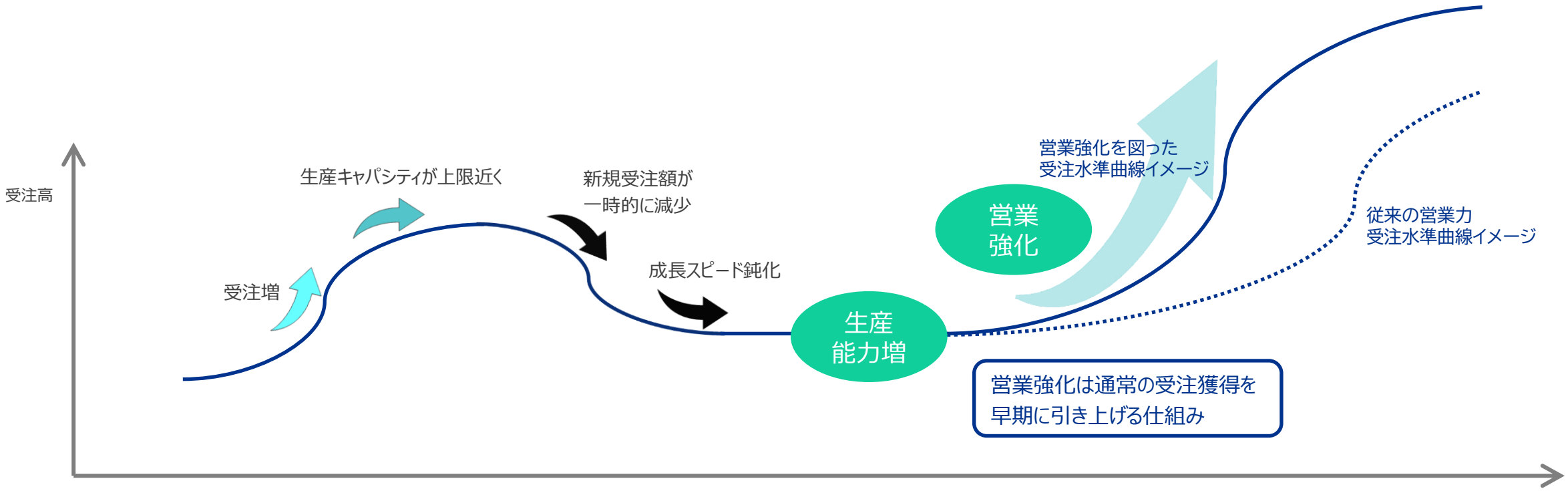
経営課題	想定ゴール	進捗
1. 専門知識を伴った営業力の強化	✓ 営業部門員約2倍に増員 ✓ 年間受注高125億円を目指す	✓ **営業部門員を 1.4倍 に増員** ✓ **27/3期上期の受注高は 67億円 で過去最高更新**
2. 生産能力/生産性の更なる引上げ	✓ 生産能力150%アップを目指す ✓ 1人当たり生産性20%アップ（25/3期比）	✓ **新棟（D棟、FP-4棟）稼働開始** ✓ **業務プロセス改善** ✓ **生産性 +4%（25/3期比）**
3. 変動する顧客ニーズへの対応	✓ 高薬理活性原薬対応案件の開発ステージを獲得 ✓ 半導体向け材料案件の新規量産取込 ✓ 品質保証体制の構築、グローバルGMP下での商用製造	✓ **半導体向け材料案件の獲得案件増加** ✓ **グローバル対応GMPに向けて準備を進める** ✓ **高薬理活性原薬の設備稼働**
4. 研究開発から事業化への更なる加速	✓ アカデミア・創薬ベンチャーとのパイプラインの拡充、社会実装 ✓ 次期中計期間での収益化 ✓ 基盤事業の強化および新規事業の探索、ニッチ分野のリーダー企業	✓ **DCIPファンドへのLP出資** ✓ **光オンデマンドケミカルとの共同研究実施** ✓ **イムノロック社への出資**
5. 4Q偏重型決算による見通し蓋然性の乏しさ	✓ 経営陣によるIR情報発信機会を4回に引上げ ✓ 受注残の平均残存納期の開示	✓ **代表取締役による２回の機関投資家向け説明会実施** ✓ **ログミーFinance主催「オンラインIRセミナー」登壇** ✓ **26/3月期の４Q偏重割合38.5%**

Copyright © KNC Laboratories Co., Ltd. All Rights Reserved.

生産能力増×営業強化を図る受注額（中計期間）の加速イメージ

生産能力増 × 営業強化

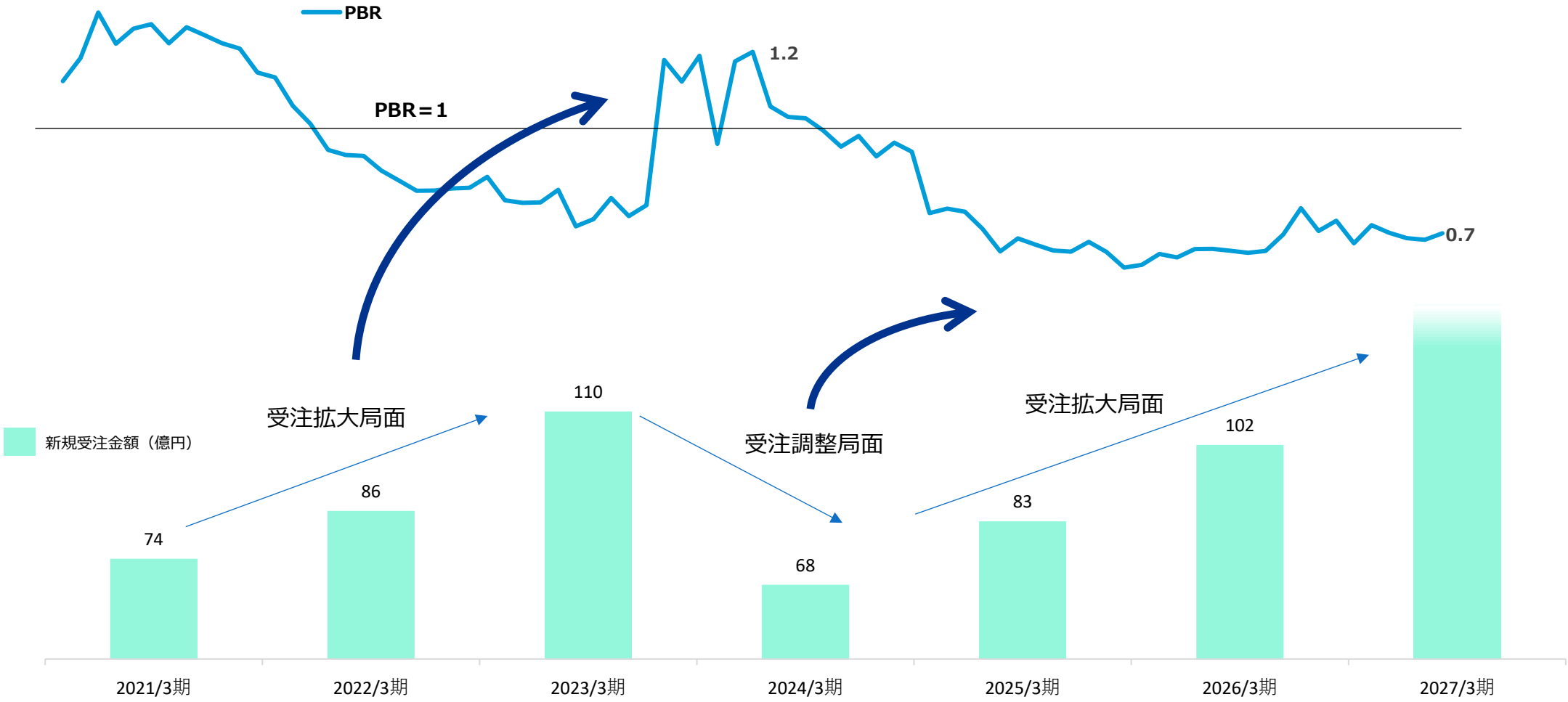
中計は能力と営業の2馬力で成長スピードを加速



Copyright © KNC Laboratories Co., Ltd. All Rights Reserved.

新規受注推移とPBR

- 当社の市場評価は受注動向にかなり遅れる傾向。かつては受注開示がなく、季節性による業績ボラティリティの高さがその原因の公算大
- 直近は、生産能力引上げと営業強化によって新規受注は再度拡大局面入りと期待。業績先行指標の改善を市場に発信



Copyright © KNC Laboratories Co., Ltd. All Rights Reserved.

４．トピックス

Copyright © KNC Laboratories Co., Ltd. All Rights Reserved.

ー夏休み特別企画ー　小学生・中学生対象化学実験教室＆ 求職者向け就職イベント

- 出雲地域における「神戸天然物化学」の認知度向上と採用活動の促進を目的に、2026年8月22日に出雲工場で夏休みイベントを開催
- 小中学生向けの化学実験教室と、保護者・求職者向けの会社説明を実施
- 当日は大人と子ども計43名が参加。科学実験を通じて、未来を担う子どもたちに科学の楽しさを伝え、交流を深める
- 地域社会への貢献を大切に、今後も地域とともに歩み、皆様に愛される企業を目指す









Copyright © KNC Laboratories Co., Ltd. All Rights Reserved.

5. APPENDIX

Copyright © KNC Laboratories Co., Ltd. All Rights Reserved.

神戸天然物化学株式会社

2027/3期2Q決算概況

2027/3期2Q単独

売上高 **23.4** 億円

- 対前年同期 +6.7億円（+39.8%）

調整後EBITDA **5.6** 億円

- 対前年同期 +3.7億円

同マージン **24.3** %

- 対前年同期 +12.5pp

新規受注 **27.3** 億円

2Q累計

売上高 **44.6** 億円

- 対前年同期 +10.9億円（+32.4%）

調整後EBITDA **9.2** 億円

- 対前年同期 +5.4億円

同マージン **20.6** %

- 対前年同期 +9.4pp

新規受注 **67.9** 億円

- 過去最高更新

通期見通し（据え置き）

売上高 **100** 億円

- 対前年同期 +9.0億円（+10.0%） **過去最高更新**

調整後EBITDA **22.1** 億円

- 対前年同期 +2.5億円（+13.2%）

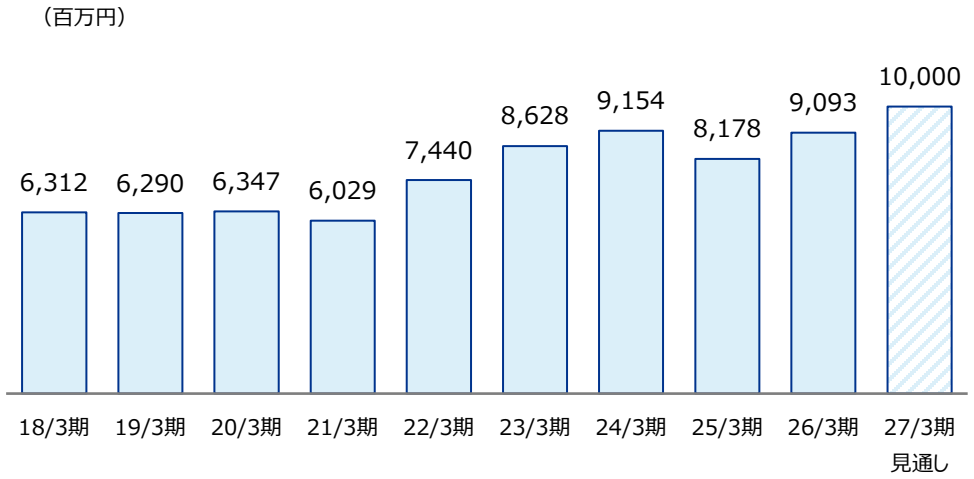
同マージン **22.1** %

- 対前年同期 +0.7pp

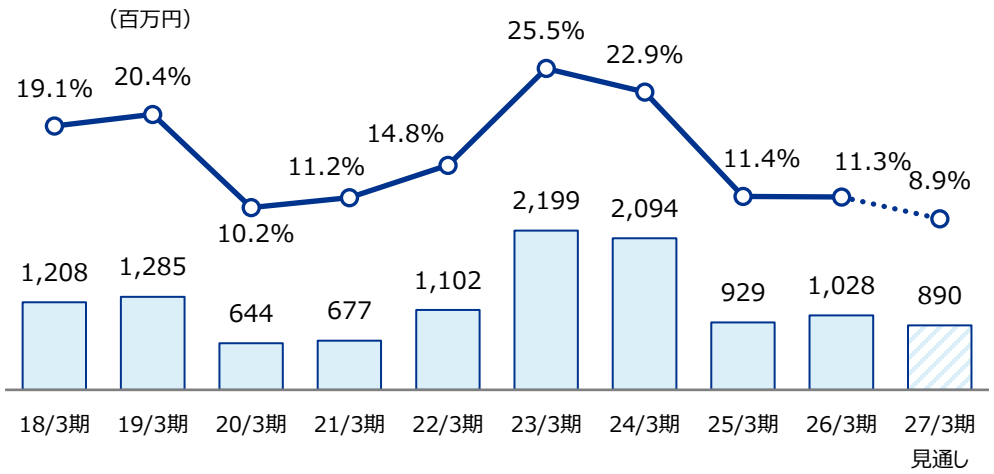
Copyright © KNC Laboratories Co., Ltd. All Rights Reserved.

業績推移

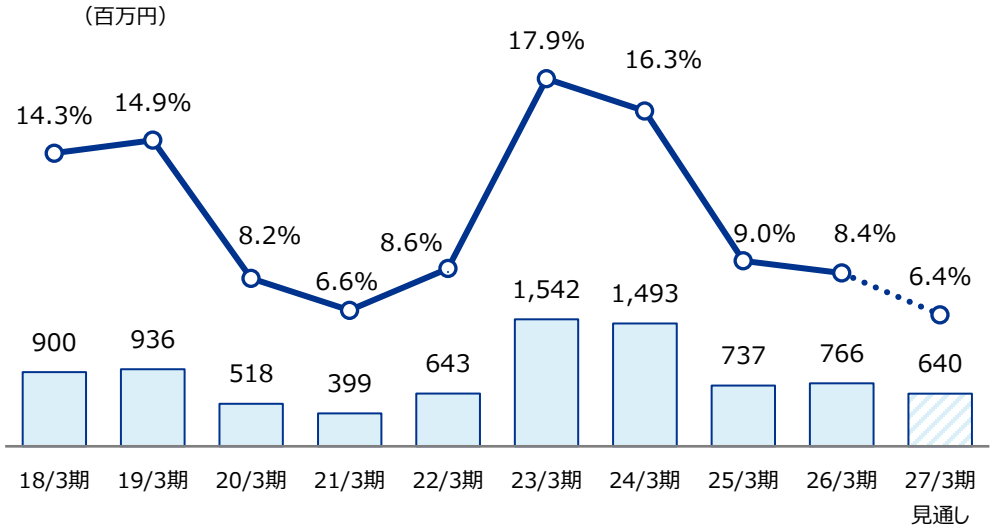
売上高



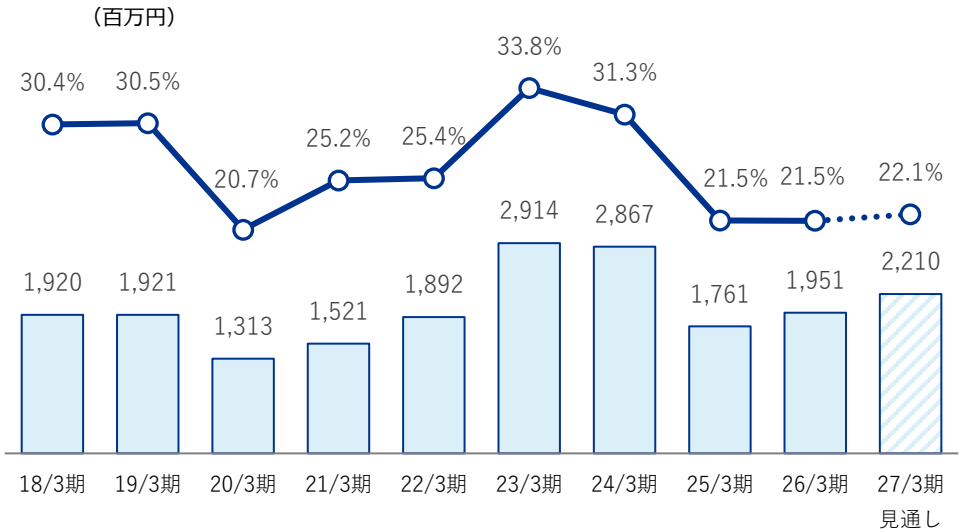
経常利益・経常利益率



当期純利益・当期純利益率



調整後EBITDA・調整後EBITDAマージン



*調整後EBITDA＝営業利益+減価償却費+研究助成金−長期前受収益取崩し分

Copyright © KNC Laboratories Co., Ltd. All Rights Reserved.

＜ 見通しに関する注意事項 ＞

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

問い合わせ先　経営企画部　IR担当　　078-955-9900（代表）　knc-ir@kncweb.co.jp

Copyright © KNC Laboratories Co., Ltd. All Rights Reserved.